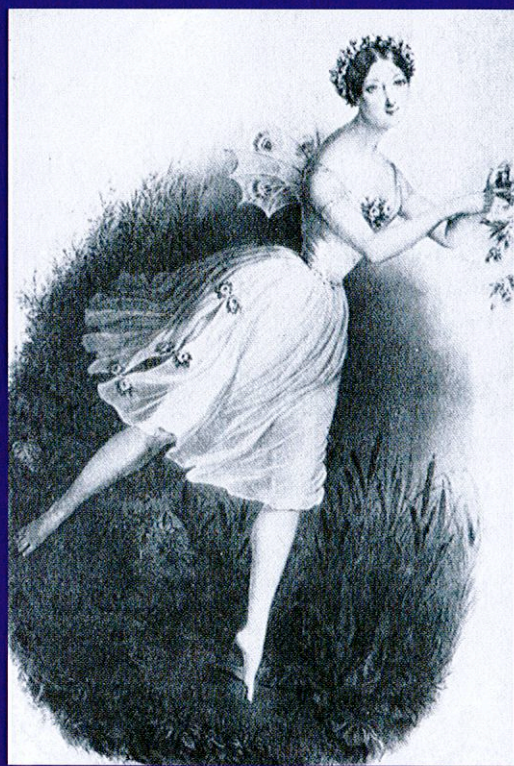


石神井バレエ・アカデミー創立30周年記念公演

Ballet Labyrinth

Choreography : Keiko Yamazaki / Yoko Ichise



バレエ・ラビリンス

演出・振付:山崎 敬子 / バロックダンス振付:市瀬 陽子

バロックダンスとクラシックバレエ
眠れる森の美女 第3幕

2012年9月7日(金) 開場18:30 開演19:00
練馬文化センター小ホール

◇チケット料金 ¥5000(全席指定)

— チケットの予約お申込み —

石神井バレエ・アカデミー 03-3996-9041

山崎 敬子 (演出・振付)

バレエは、イタリアで生まれフランスで育てられたと云われております。イタリアの文芸復興期の文化芸術がフランス宮廷で盛んになり、16世紀「王後のバレエコミック」など数多くの宴会バレエが上演されました。17世紀ルイ14世の時代に王立舞踊アカデミーが創立され現代のクラシックバレエへと発展してきました。

その要であるバロックダンス(舞踏譜によつてのダンスおよびスタイル)とそこから発展したクラシックバレエを同時に表現できたらと市瀬先生のお力をお借りして振付をして見ました。

市瀬 陽子 (バロックダンス振付)

クラシック・バレエへの歴史は、17世紀、ルイ14世の時代に遡ります。ヴェルサイユ宮殿を造営し、そこに宮廷を置いたフランスの王様は、バレエの専門機関を開設しました。現在のパリ・オペラ座やバレエ学校の礎となるものです。本公演では、当時の有名振付家ペクールペクールの振付を舞踏譜に基づいてご紹介するとともに、新しい試みとして、現代のバレエとの共演を果たします。17世紀フランス・太陽王のバレエ、19世紀ロシア・チャイコフスキーの傑作バレエ、さらに21世紀の日本。バレエは歴史を引き継ぎながらも、変貌を遂げ多様化していきます。迷路《ラビリンス》は、出口を目指すことよりも、むしろその道程を味わうことで楽しみが深まるでしょう。誕生から現代、そして未来へ... 歴史はただ一筋の整然とした道筋というわけではありません。迷路を巡って迷いながら楽しむように、作品を一つ一つ、私たちと一緒に楽しんでくださいますように。

Cast

田中 裕子	南雲 久美	田口 晶子	山口 麗子
佐藤さやか	大川 夏季	田所 愛	佐藤 萌子
松井 綾子	池田 愛子	岩佐 樹里	甲斐ランベルあきよ
梶田 有加	仲秋 亜美		

Guest

宮城 文 (谷桃子バレエ団)	西島真希子	天野 聖子	大久保真貴子
斉藤 拓 (谷桃子バレエ団)	上原 大也 (牧阿佐美バレエ団)	坂爪 智来 (牧阿佐美バレエ団)	細野 生 (牧阿佐美バレエ団)
三浦 敏幸	井上 浩一	村山 亮	